



一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

第9回バッテリー研究部会報告

2018年7月17日
一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)
代表理事 田嶋 伸博

会員・報道機関各位

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さる7月11日(水)に第9回バッテリー研究部会が開催されましたので、下記の通りご報告いたします。

「記」

- 日時：2018年7月11日(水) 15:30~17:00
- 場所：文京区本郷 東京大学 情報学環 福武ホール B2F ラーニングスタジオ
- 出席者
株式会社 光岡自動車 砂田様
JFE エンジニアリング株式会社 七種様
株式会社ダイセル 若槻様
新明工業株式会社 松橋様 川部様
丸紅株式会社 菊武様
東京電力株式会社 唐鎌様
APEV
佐藤部会長(理事) 田嶋代表理事、草加理事、事務局 上荒磯局長代理、荒木次長、安嶋

➤ 議題：

1) バッテリー研究部会の活動紹介：佐藤部会長

平成28年12月に発足した「バッテリー研究部会」の趣旨、組織、研究部会開催状況、検討事項、外部機関との意見交換状況、部会の活動方針について佐藤部会長が報告した。[資料は会員 SNS 参照]
今後の活動方針は、「コンバージョンEVのガイドライン」REESS 関連部分の改訂、バッテリー電気自動車の安全規則(No. 100)のREESS 要件追加に対応するRESS サブシステムについて試験も含めた検討を行うこととした。

2) 東芝Li 電池システムの現在と将来、R100 対応について

東芝インフラシステムズ株式会社 産業・自動車システム事業部 電池システム統括部 電池技術部 小野 修史(おのしゅうじ)様よりご講演を頂いた。[資料は会員 SNS 参照]
東芝インフラシステムズ株式会社の概要説明、リチウムイオンバッテリー SCiB の説明、R100 対応のお話を頂いた。長寿命化出来る技術的説明、また、使用事例及び新たに開発された電池や今後期待される電池についてのお話しも頂いた。

質疑応答においては、電気自動車のネックとも言われる電池の劣化による一充電走行距離の低下が、電気自動車の普及を妨げる1要因との考えについて、バッテリーの劣化に対する活発な意見交換があった。また、現在市販されているEVの現状についても意見交換がなされた。

3) その他事項の情報交換

「現在、APEV はバッテリー及びバッテリーシステムに関する技術支援は有るが、電気自動車全般に関わる技術支援をして欲しい」との要望があった。

会員企業の情報発信について APEV から発信して頂けないか、とのご要望があったが、「APEV の会員専用 NS に会員企業を書き込めるページがあるのでそこをお願いしたい」との説明が事務局から

あった。

4) 今後の進め方

次回研究部会は9月頃を予定しているが、日時についてはメールでご案内する事とした。

電気自動車全般に関わる会員企業に対する技術支援対応について、APEV 理事会で検討したい。

以上



全体



全体



東芝インフラシステムズ(株)小野 修史様

お問合せ：一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV) 事務局
〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール
TEL:050-3736-8325 FAX:050-3153-2686
E-mail: info@apev.jp Visit our website: <http://www.apev.jp/>